

広島市工業技術センター



広島市中区千田町にある広島市工業技術センター

地域の中小企業の支援をしています

今回、訪れたのは広島市工業技術センターです。大手自動車メーカーがある広島は、その車の部品を作る中小企業を中心に様々な製造業者が多くあります。

その加工品の性能・品質を高めるためには高精度の試験機器が必要になります。しかし、資金力の乏しい中小企業では高価で高精度の試験機器を購入する事が困難です。

そのような企業をサポートするために、広島市工業技術センターでは多岐にわたる試験機器を導入し、利用しやすい料金で企業の方々に利用していただいています。また、依頼試験、工業技術の指導、工業技術支援アドバイザーの派遣、講習セミナーによる人材育成、地元中小企業と一体となつ

た共同研究なども行っており、中小企業の技術力の向上、中小企業の振興及び発展に寄与しています。と、所長の外和田孝章氏と課長の土佐計氏に説明いただきました。

その広島市工業技術センターを見学していただいた選手は、広島支部の菅原啓二選手です。

菅原選手は高校の時から、広島市工業技術センターの近辺を自転車を通っていたそうです。

さて、工業技術センターの保有している主な機器の約7割が競輪の補助事業で導入されたもので、その中でも、二次元測定機(千分の1ミリまで寸法測定ができる機器。主に車の部品の測定に使われる)、恒温恒湿低温槽(マイナス40度から150度の



今回、見学していただいた菅原啓二選手

幅で温度をかけるとともに湿度も設定できる機器。様々な条件下で製品の変化を見る)、デューサイクルサンシャインウェザーメーター(様々な気象条件を再現する事が出来る機器。設定した条件下で製品の耐久性を確認する)、と1000kN万能試験機(金属などの強度試験を行う機器。鉄筋圧接部の引張り試験等を行う。これは、ビル等の建築に使用される鉄筋の圧接部について、引張り試験等を行い、所定の強度があるのか、圧接不良が無いのかを試験する)を見学させていただきました。

どの機器も、中小企業の方々にとって、なくてはならないものである事が良く理解できました。競輪の補助事業が広島の中企業の方々に役立たれているのは本当に喜ばしい事です。

菅原啓二選手のインタビューは、32ページに掲載しています。



1000分の1mmまで寸法測定ができる三次元測定機。



恒温恒湿低温槽。温度、湿度を管理し製品の耐久性等を調べる。



デューサイクルサンシャインウェザーメーター。色々な気象条件を作り出し、製品の色々な耐久性を検査できる。



1000kN万能試験機。金属の強度試験を行う機器。



建設に使う鉄筋の圧接部の良否を見る破断検査。



施設の説明をしていただいた外和田孝章所長(左)と土佐計課長。